

# 2018年度 UNSW 研修の記録

期間：8月1日（水）～11日（土）

参加者：2年生（72回生）男子8名・女子18名、引率：2名

研修テーマ：多文化社会としてのオーストラリア

1日目 カンタスの直行便にて関空からシドニーへ移動

2日目 UNSW 到着

英語力診断テスト・オリエンテーション・キャンパスツアー・ホストファミリーとの対面



3日目 英語研修（講義・演習）

午前1：「オーストラリアの多様な自然環境や行政区画、世界の多様な言語について」

午前2：「多言語話者、環境問題について」



フィオナ先生

午後 市中心部見学

UNSWの学生スタッフのイザベラさんの案内で、路線バスに乗って市中心部へ出かけました。サーキュラー・キーを起点に、オペラハウス、王立植物園、州立図書館、聖メアリ大聖堂などを見学する Walking Tour で、タウンホールで解散しました。



連節の路線バス

州立図書館にて

#### 4日目 The Blue Mountains 見学

中高生向けの教育ツアーを得意とするエージェントのベテランガイドのデミアンさんとアシスタントの高校生ジョニー君の案内でブルーマウンテンズの大自然を満喫しました。途上、人口増加やシドニー郊外の開発の現状、地形や地層の特徴、植生、環境問題、などさまざまなことを教えていただきました。環境に負荷をかけないために自然を楽しむにあたっての注意などもされましたが、「こんなすばらしいところにいつてきたよ！」と SNS などで発信するときに、正確な位置をタグ付けしないようにすること、といかにも現代的な注意点にも触れられました。ブルーマウンテンズはユーカリの木から蒸発する成分が、朝夕の特定の時間に光を反射して山々が青く見えることからついた名前です。途中、フェザーデール動物園でコアラ、ワラビー、カンガルー、エミュ、ウォンバット、ディンゴ、クカバラ、タスマニアンデビルなどオーストラリアならではの動物に触れることもできました。



デミアンさんとジョニー君

メインは自然学習をしながらのブッシュウォーク（ハイキング）で、六甲縦走と同じようなきつさでしたが、雄大な大自然は、その苦勞が報われる素晴らしさでした。Wentworth という地名に納得。昼食はカトゥンバという町のピクニックエリアで、用意していただいたサンドイッチロールやフルーツ、オーストラリアのお菓子のティムタム、レミントンなどをいただきました。

#### 5日目 ホストファミリーとの一日

ビーチに行ったり、ショッピングや教会に行ったり、家庭ごとに様々な過ごし方をしました。

#### 6日目 英語研修（講義・演習）

午前1：パーソナリティと創造性の関係についてディスカッションしながら、英語らしく聞こえるリズムやイントネーションのコツも教えていただきました。



ゲリー先生

午前2：よいプレゼンテーションの条件について、お手本の動画を見ながら学習しました。

午後：金曜日に行うグループプレゼンテーションの準備を始めました。今回はグループプレゼンテーションです。グループでプレゼンテーションにする際に陥りがちなのが、分担して各自がバラバラに担当部分をよんで終わってしまうということなのですが、全体のコンテンツのどの部分を今話しているのか、それを次に誰がどうつないでいくのかといったトランジションのコツについても教えていただきました。大テーマは「日本とオーストラリアの違い」ですが、サブカテゴリーは自分たちで決めました。ただし、「違う」ということで終わってしまうのではなく、「なぜ違っているのか」や「その違いがどのような結果につながっているのか」に分析を加えて発表しなくてはなりません。



#### 7日目 (演習)

午前1：国連について学びながら、リスニングやディクテーションのコツ、長い文を意味が伝わるようなリズムで読む練習をしました。プレゼンで説明する際に必要なテクニックです。

午前2：調査等の分析結果の数値や傾向の変化を効果的に説明する表現について学習しました。これもプレゼンを意識しています。

午後：プレゼンに必要なデータを集めるためにキャンパスでインタビューをしたり、パワーポイントを作成したり、原稿を作ったりしました。声をかけるのはとても勇気が必要でしたが、ほとんどの方が親切に答えてくださったので、途中から楽しくなってきたようです。達成感も感じることができました。



たまに断られることもありましたが、果敢にインタビューできました。

#### 8日目 文化学習

UNSWの学生スタッフの Marcia さんの案内でロックス地区・王立植物園を訪れました。

午前：The Rocks Discovery Museum で、シドニー付近の先住民や入植期の人々の生活について学習しました。ロックス地区は当時の歴史的な建造物が残る地区です。

午後：Royal Botanic Gardens 先住民のバックグラウンドを持つスタッフから、オーストラリアのアボリジニの分布状況、生活や儀式のための道具などについて室内でレクチャーを受けた後、公園内を歩きながら、サバイバルのためにどのように植物を利用したか、成人の儀式の伝統、自然の恵みとどのように調和したか、などについて教えていただきました。2時間弱の間、一生懸命英語の説明に聞き入りました。



## 9日目 (演習)

午前1：Eメールの書き方を通して、フォーマルな英語とインフォーマルな英語について学びました。日本の教科書ではあまり触れられることがない分野なので、新鮮に受け止めたようです。

午前2：意見を述べたり、求めたり、同意したり、反対したり、という議論に必要な表現について学び、練習しました。

午後：UNSWのNippon Students Associationという日本や日本語に興味のある学生のサークルのメンバーとの交流をしました。トピックはオーストラリアの危険動物から始まり、趣味などについても話が弾んだ様子です。熱心な大学生に大いに刺激を受けました。



ひとしきり会話を楽しんだ後、明日に控える最終プレゼンの最後の仕上げを手伝っていただきました。皆さん熱心に指導してくれました。大学生になるとプレゼンの技術は不可欠なので、いろいろアドバイスをいただくことができました。



## 10日目 (演習)

午前1：プレゼンテーション



オーストラリアと日本の比較をするプレゼンテーションです。気候や人々の暮らしの違い、税制や軍隊、投票率

などの違いなど、硬派なテーマを選ぶ班が目立ちました。準備の時間が非常に少なく、心配でしたが、どのテーマもリサーチをしっかりと行われ、堂々として立派なプレゼンテーションでした。講師の先生からは「ビデオにとっておいて、お手本として他のグループに見せることができるようにしておくべきだったわ。」とほめていただきました。

#### 午前2：修了式

1人1人、講師の先生から修了書を手渡していただきました。短い期間でしたが、すべてのプログラムに一生懸命取り組みました。



午後：ゆっくりと最後のランチをキャンパスで楽しんだ後、近くの公園でスポーツをしました。UNSWの学生スタッフが一緒に参加してくれました。

夕刻：バスで空港ホテルに移動し、夕食後、反省会を行いました。それぞれに多くの経験や学びがあったことがわかりました。



#### 11日目 シドニーから関空へ

帰りたくない！と思った人が多かったせいか、飛行機の出発が2時間も遅れました。夜遅くになりましたが、無事に全員帰国しました。研修生たちのレポートは近日中にUPします。



飛行機の中からシドニーを臨む